

光治療による高齢者に適した新しい歯周治療法の確立

<背景>

- SRP後の菌血症: 90%
AZM併用SRP後の菌血症: 20%
(Morozumi et al. 2010)



- Er: YAGレーザーは菌血症発生を抑制する
(Komatsu, Morozumi et al. 2012)

- フルマウスSRP後に急性期反応
体温, 血清中hs-CRP, IFN- γ が上昇
(Morozumi et al. 2018)



- 抗菌薬の頻回投与は危険(耐性菌, 腎機能障害)



細菌数が増加し、免疫力が低下した高齢者においては全身性の高リスク



高齢者に適した安全かつ効果的な
歯周治療法の確立が必要



<目的>

高齢者の慢性歯周炎患者における、従来法SRPとEr: YAGレーザー治療(歯肉縁下スケーリング)後の生体応答変化を比較解析する

<概要>

治療前



治療後



再評価

①~⑤

②~⑤

①

- ① 歯周パラメーター ② バイタルサイン ③ 内毒素
④ 免疫反応(血清中炎症性メディエーター)
⑤ 神経内分泌反応(唾液中ストレスマーカー)



ハンスケーラー群



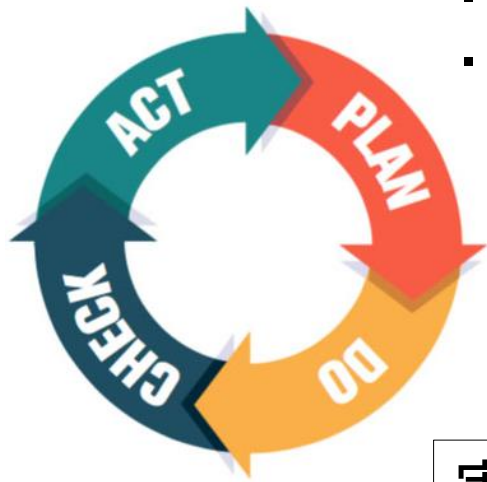
Er: YAGレーザー群



<PDCAサイクル>

改善

- ・改善策の立案
- ・中・長期計画の修正
- ・中期目標への移行



計画

- ・研究計画の立案
- ・講座横断の討議
- ・倫理委員会申請
- ・臨床試験登録
- ・キャリアブレーション

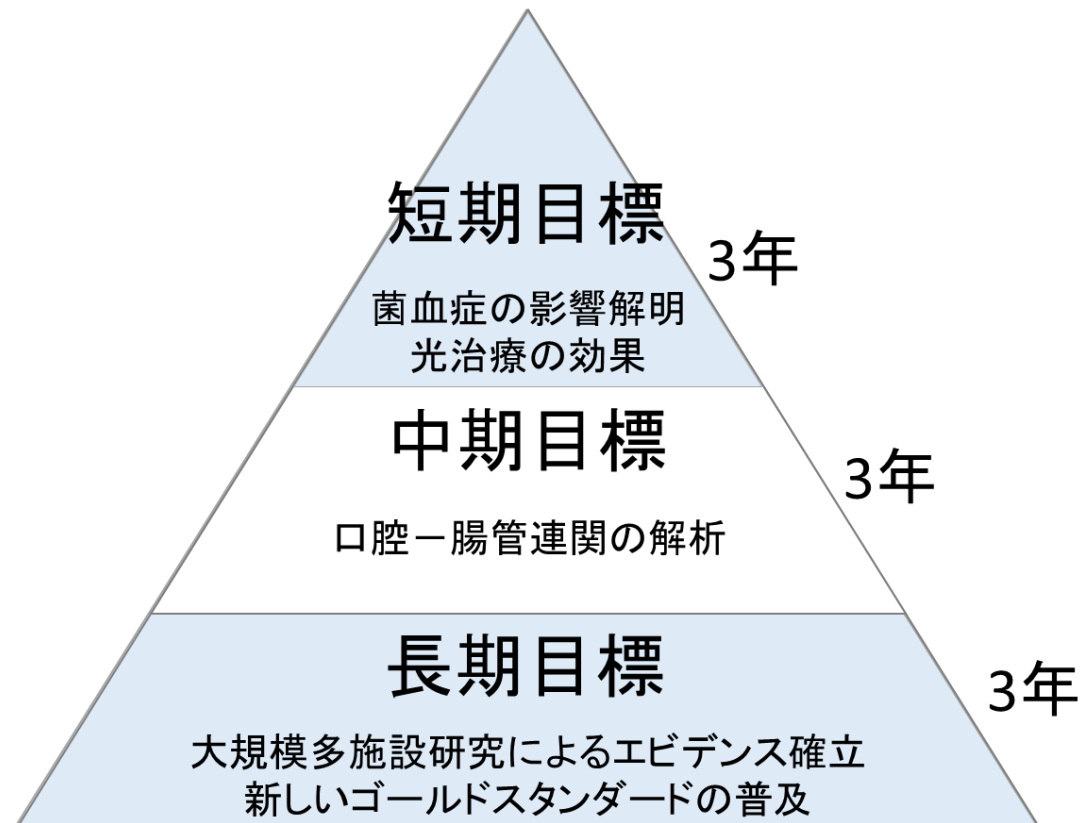
評価

- ・自己評価
- ・評価委員会
- ・プロジェクト報告会
- ・学術講演会

実行

- ・計画の遂行
- ・学会発表
- ・論文公表

<ブランド研究構築への見通し>



高齢者に適した新しい歯周治療法の確立

短期目標: **本プロジェクト**

中期目標: 菌血症経路と腸内細菌経路の比較

長期目標: 新しいGold Standard=**横須賀メソッド**の発信